災害と物価高から市民守る　日本共産党



松戸市議会議員

うつの史行

ふみゆき

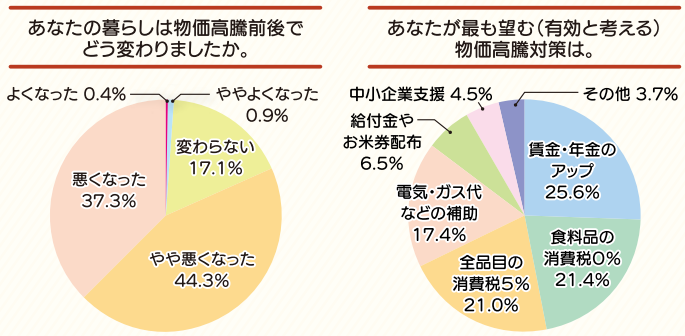
●プロフィール
1976年葛飾区生まれ、明治大学法学部卒。会社員を経て市議６期。八柱保育所父母会元役員、風の子放課後児童クラブ保護者会元役員。家族：妻、１男　趣味：バイク、ロードバイク、ピアノ

●主な活動地域
日暮、河原塚、岩瀬、小根本、緑ヶ丘、仲井町、胡録台、松戸新田、野菊野、稔台、和名ケ谷、金ケ作の一部（八柱駅より）、千駄堀（６中の南側）、秋山、高塚新田、紙敷、東松戸、五香西、松飛台、串崎新田

６期24年、多くの皆さんに支えていただき、粘り強い地域運動と議会論戦で市政を前へ進めてきました。一方で「国民健康保険料を住宅ローンより優先して納めていますが高すぎます!」こんな悲痛な声が寄せられました。市は今年から4年連続で国保料アップを計画し、年収500万円の世帯では４年後には1.48倍の年間27万円も負担増に。

増税と市民負担に突き進む市政から、市民を守るために、引き続き全力で頑張ります。

日本共産党のアンケートに寄せられた市民の「暮らしが苦しくなった」の声



この4年間で、みなさんと力合わせて実現

- ●放課後児童クラブ支援員の処遇改善
- ●小学校の給食無償化
- ●学校やスポーツ施設体育館のエアコン設置
- ●松戸市に児童相談所を設置
- ●市庁舎移転を現地建て替えに
- ●稔台交番前など各地の水害解消
- ●高塚・秋山にコミュニティバスを運行
- ●八柱駅から新八柱駅への点字ブロック整備
- ●松戸新田マカロニ市場前の歩道拡幅が完了



津波被害の石巻市で炊き出しボランティア



うつの史行の原点

1995年の阪神淡路大震災で、日本共産党の救援ボランティアに参加したのは18歳でした。救援物資をリヤカーや軽トラで被災者に届け、一人暮らしの高齢者を一軒一軒訪問し記録した「おばあちゃんノート」もつくりました。この時の経験が「市民生活をまるごと支える」という共産党議員としての原点となりました。

議員となってからも、東日本大震災での津波被害、放射能の除染や豪雨災害など、真っ先に現場に入り被災者支援を続けています。これからも「徹底的に現場主義」をモットーに、市民の声と現場の熱を市政に伝えます。

みなさんと力合わせて実現めざします

◆どの子ものびのび
- ・中学校給食無償化　・教員不足解消と学校改修
- ・児童館や中高生の居場所づくり

◆安全な街づくり
- ・水害対策の強化と避難所の備蓄充実
- ・通学道路、生活道路の安全対策

◆高齢者を応援
- ・バス・タクシー料金の補助制度　・国保・介護負担軽減
- ・年金で入れる特別養護老人ホーム

◆市民と地域の願い
- ・上本郷駅南口にエレベーター設置を　・大型開発見直し

水害から市民を守る

日本共産党のみわ由美県議と松戸市議団は8月13日の豪雨被災直後から被災住民のもとに駆けつけ、災害対策本部を立ち上げ、被災者の声を直ちに松戸市に届け、ワンストップコールセンターを開設させました。17日は被災者の声を18項目にまとめた要望書を市に提出しました。



災害ゴミの状況調査　うつの市議・みわ県議

水害対策を抜本的に強め、中学校給食無償化、教員不足解消を!

まっど民報
2026年10・11月号外　日本共産党の活動と見解を紹介します。
日本共産党松戸・鎌ケ谷地区委員会　〒270-2252 松戸市千駄堀1810ー2　☎047-349-1544

党地区委員会ホームページ

市民の命と暮らし最優先の松戸市へ
ブレずにがんばる日本共産党の4議席

自治体のお仕事は？

「住民の健康と福祉の増進」（地方自治法第2条）が本業のはずです。松戸市はどうでしょうか？

松戸市では

2026年度の予算では国民健康保険料など約41億円の市民負担を増やす一方で、新松戸東側区画整理の赤字の穴埋めに30億円の税金をつぎ込もうとしています。他にも無謀な開発がめじろ押しです。

中学校給食無償化は5.4億円〔一般会計予算の0.3%弱〕でできます!

こんな市の仕事ぶりをチェックするのが市議会の役目ですが、市民負担増も無謀な開発もフリーパス（右の表を見てください）。

すべての議案をチェックするためには4つの常任委員会すべてに委員を出せる日本共産党の4議席が欠かせません。



2026年3月議会

議案	日本共産党	政策実現フォーラム・社民	公明党	清風まつど	松戸志政会	無所属
2026年度予算	×	○	○	○	○	△
市営水道料金値上げ	×	○	○	○	○	○
新松戸東側・松戸駅東側開発予算	×	×	○	○	○	△
国保・後期高齢者医療保険料値上げ	×	△	○	○	○	○
イラン攻撃の即時停止を求める意見書	○	○	×	×	×	△

○賛成　×反対　△賛否分かれる

災害対策、くらし・営業、医療・福祉、公共交通…
力合わせ市民のために働く市政を取り戻そう

世界でも日本でも、松戸でも市民の力で

ニューヨークでは昨年11月、民主的社会主義者（DSA）のゾーラン・マムダニさんが、公共取り戻そうと、家賃の凍結などを掲げて市長に。

日本でも、今年3月の清瀬市で地域図書館の再生を公約に掲げた共産党市議団長の原田ひろみさんが市長に当選。

松戸でも市民の声で、市役所の移転建て替えが現地建て替えに転換。小学校給食の無償化にも市民の声が生かされました。

実現します! 市民アンケートのトップ5

1. 教職員不足の解消を	41.6%
2. 国民健康保険料の引き下げを	35.5%
3. 小中学校給食の無償化を	34.1%
4. 年金で入れる特養ホームを	34.0%
5. コミュニティバス・タクシー代補助を	30.0%

憲法を守り、国民が主人公をつらぬく日本共産党です

憲法と国連憲章が行動基準です

日本共産党の行動基準は、国内では日本国憲法です。憲法の全条項を守り、国民の命と暮らし、人権と民主主義に生かします。

国際的には国連憲章が行動基準です。戦争や紛争は国連憲章にもとづいて解決すべきであり、アメリカやロシア、イスラエルの横暴は許されません。

日本共産党リットリンク

皇室典範での共産党の主張にビックリ!

総選挙後の国会では、高市政権の数を頼んだ暴走に、自民党内からも批判の声が上がりました。

そのなかで、「女性天皇への道を閉ざす皇室典範改定案には反対」という日本共産党の主張が注目を浴びました。日本共産党は天皇の制度でも「その地位は国民の総意による」という憲法をそのまま生かします。

憲法9条は変えない 戦争準備の大軍拡やめる 税金は暮らしに回す!